

企画展

「アート」を組む人々

ミスズアートとモザイクタイル画の仕事

本展は、2020年に急逝した曾根研氏と、その祖父の代から続いていた「ミスズアート・スタジオ」に注目し、モザイクタイルの絵画表現を担った職人たちの仕事を紹介する企画展です。

豊富な色数を誇るモザイクタイルを組み合わせて、絵画や模様を作ることを、この地の人々は「アートを組む」と表現します。昭和23年、米軍羽田空港ターミナルに施工された1センチ角のモザイクタイルによる壁画を皮切りに、昭和20年代後半から、岡本太郎をはじめとする芸術家が「アート」制作を盛り上げていきました。モザイクタイルの普及には、笠原（現・多治見市笠原町）における施釉磁器モザイクタイルの開発と、量産体制の確立が大きく影響しています。その流れは身近な公共建築や銭湯、商店街などにも広がり、多治見でもアートを組む職人が多数輩出、その一つがミスズアート・スタジオでした。

現在、大掛かりなモザイクタイル画の需要は減少していますが、大きな壁面を利用した絵画的な表現は、豊富な色や形を組み合わせられるモザイクタイルの真骨頂ともいえます。本展では、3代にわたるミスズアート・スタジオの作品を軸として、まち中を彩ってきたモザイクタイル・アートをご紹介します。ことで、その可能性を感じていただきたいと思います。願っております。



曾根研「揺らぎの壁—白—」2016年、名古屋モザイク工業/大阪ショールーム ©名古屋モザイク工業株式会社



東京・改正湯モザイクタイル画富士山図(横井アート)

会期：2023年5月20日(土)～8月27日(日)
 休館日：月曜日(休日の場合は翌平日)
 開館時間：午前9時～午後5時(入館は午後4時30分)
 会場：多治見市モザイクタイルミュージアム 3Fギャラリー
 主催：多治見市モザイクタイルミュージアム
 協力：西村陸、曾根研回顧展有志の会
 観覧料：一般310円、団体250円
 (常設展観覧料でご覧いただけます)

高校生以下無料、障がい者手帳をお持ちの方及び付き添い1名様無料

◎見どころ◎

1. モザイクタイル壁画が流行するきっかけを作ったと言われる岡本太郎。

ミスズアート・スタジオに残されていた、岡本太郎によるモザイクタイル画の下絵「青春」を、約14年ぶりに公開します。

2. 多治見で3代続いたミスズアート・スタジオの作品を貴重な写真のスライドを使って紹介するほか、3代目曾根研のモザイク作品を展示します。



モザイクタイル画「青春」の制作風景 提供：岡本太郎記念館

3. デザイナー佐藤卓氏がデザインした、銀座松屋モザイクタイルの地下通路。

その「アート」を組む仕事に携わった横井アート横井浩之氏他、市内で活躍した「アート」を組む職人の仕事も併せて紹介します。



■関連企画：モザイクアート・ワークショップ

「アートなミニ額でモザイク体験」

講師 櫻井拓也(モザイクアーティスト)

対象 中学生以上 10人

日程 8月開催予定で計画中

額縁を選んだら、タイル、大理石、ガラスなどから素材を選んで、モザイクアートを作ります。

※その他にもワークショップなど計画中。

詳細についてはホームページにて告知します。

■お問合せ先：

多治見市モザイクタイルミュージアム

〒507-0901 多治見市笠原町 2082-5 電話 0572-43-5101 FAX 0572-43-5114

URL: <http://mosaictile-museum.jp>